

敷地ごと浸水を防ぐ！

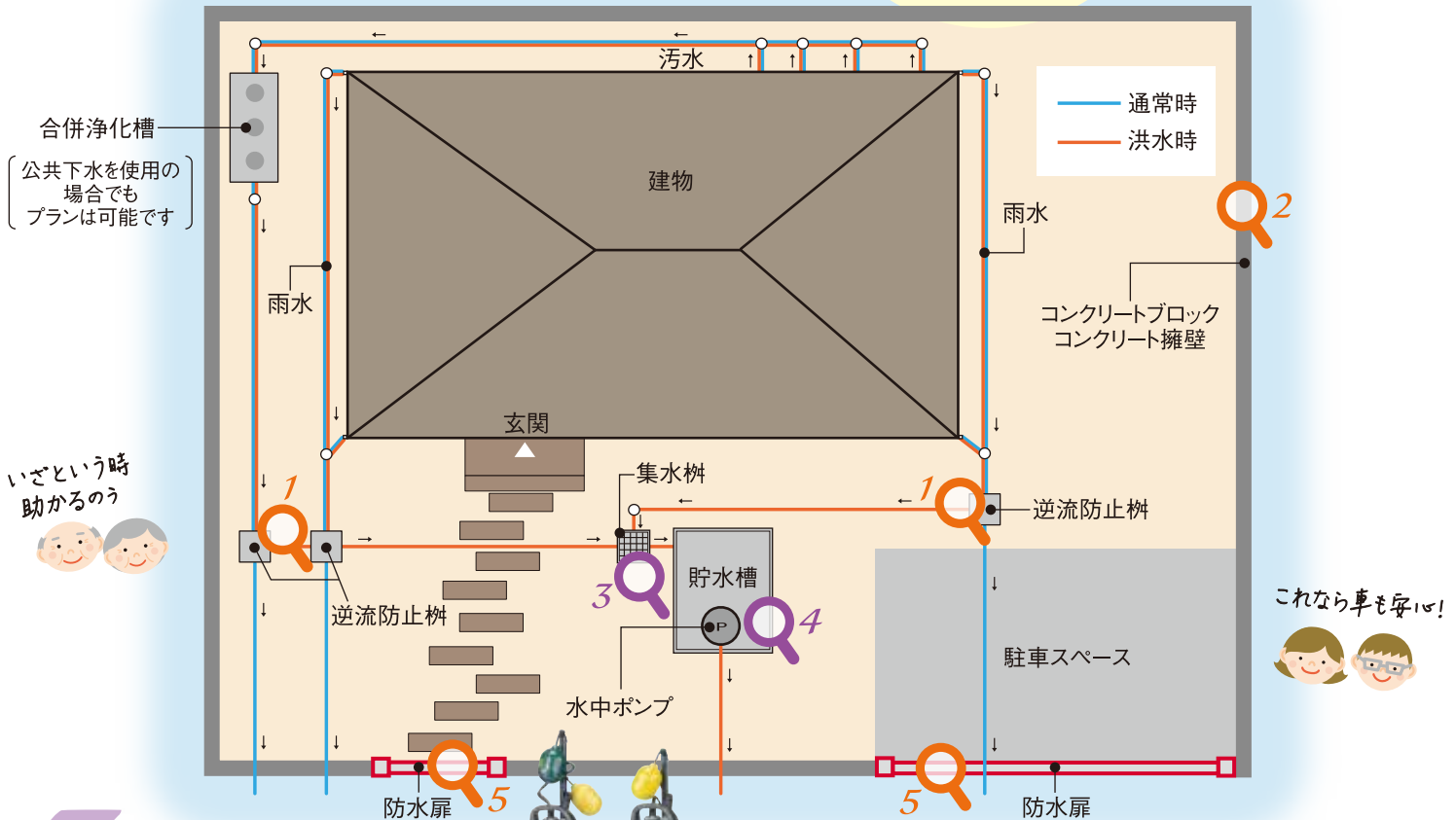
浸水対策スーパープラン

台風・豪雨・高潮などによる洪水時に、敷地外からの流入を防ぐと同時に敷地内の排水を行い、大切な建物や車を敷地ごと守れる浸水対策です。



1 流入対策
汚水及び雨水
逆流防止柵で
外部からの
逆流水を止める

2 流入対策
敷地全体
ブロック及び塀で
外部からの
流入を防ぐ



3 排水対策
汚水及び雨水
逆流防止柵・集水柵
を介して
貯水槽に送る

4 排水対策
汚水及び雨水
貯水槽内の
水中ポンプ(感知式)で
敷地外に自動排水



2台の水中ポンプを使い
自動排水を行います

5 流入対策
**出入口部
(門・駐車場)**
防水扉で
外部からの
流入を防ぐ



防水扉とは？
建物や敷地の開口部に一時的もしくは常時設置し、開口部からの水の浸入を防ぐ「仕切り」です

敷地全体の浸水対策を可能にします。

外部からの流入の防止



敷地内から外部への排水

- ✓ 敷地全体をブロック及び塀で防ぐ。
- ✓ 出入口部(門・駐車場)を防水扉で防ぐ。
- ✓ 逆流防止柵で外部からの逆流水を止める。

- ✓ 汚水及び雨水を逆流防止柵を介して貯水槽に送る。
- ✓ 貯水槽内の水中ポンプ(感知式)にて、敷地外に自動排水する。

このプランのメリット

- 敷地外からの流入を防止できる
- 大雨時に敷地内の排水ができる
- 建物・車等、敷地内の物を浸水から守れる
- お風呂・トイレ等、水回りが使用可能
- 災害後の片付けが少ない
- 被害が少ない為、修繕コストが低い

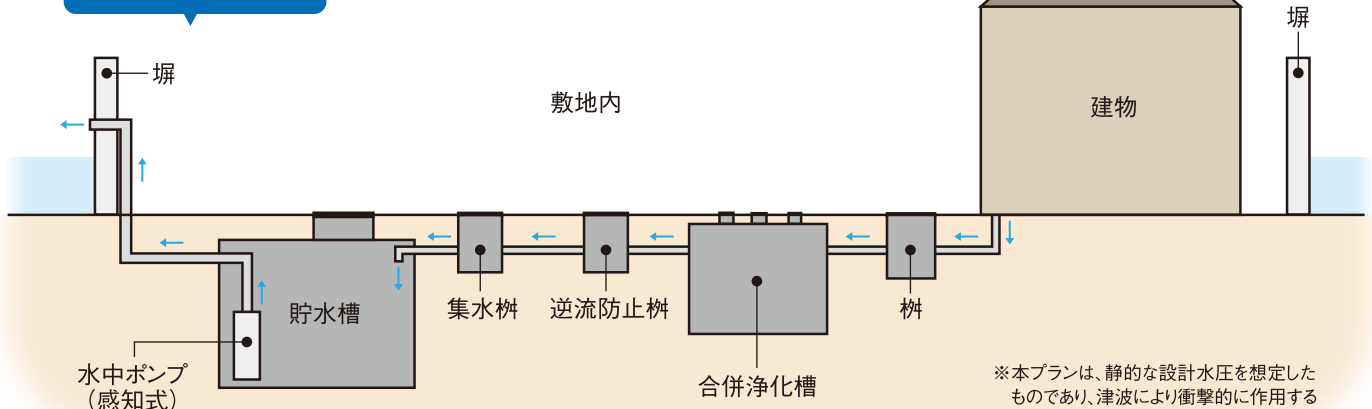
このプランのデメリット

- 導入コストが高い
- 貯水槽の設置スペースが必要
 - 【対策】敷地の状況により分割(複数の小型水槽へ分割)も可能
- 停電時に水中ポンプが作動しない
 - 【対策】小型発電機の設置により停電時でも作動可能
- 年2回程度のメンテナンスが必要

さまざまな水害から敷地ごと浸水を防ぎます



浸水対策スーパープラン 断面図



※本プランは、静的な設計水圧を想定したものであり、津波により衝撃的に作用する水圧や漂流物の衝突を考慮したものではありません。